**平成２９年度第１回大阪府がん対策推進委員会**

**患者支援検討部会（概要）**

１．日　時：平成29年8月4日（金）午後6時～

２．場　所：國民会館住友生命ビル12階　小ホール

３．議　事：（1）第３期大阪府がん対策推進計画（素案）について

（2）その他

4. 委員からの意見要旨

（1）第３期大阪府がん対策推進計画（素案）について

①計画全体について

○「患者本位」という言葉については、「個別に応じた」といった表現に

したらどうか。

②相談支援センターについて

○目新しいことが無いのではないか。それぞれの項目に重み付けが無い。

今までの反省からどう取組んでいくのか。

○府として相談支援センターの機能強化することは良いことだが、具体的にどうするのか。

○相談支援センターの認知度が低い、院内における認知度も低い。今後、どのように進めていくのか。

○院内における認知度の低さは痛感している。

○相談支援センターの活用方法も重要であるが、まずは周知不足である

ことをクリアしたい。

○直接には相談支援センターに関係のない説明書類の隅にでも、相談支援センターに関する紹介文を入れることで、周知する機会を増やせないか。ある程度過剰に力を入れなければ、状況は改善されないと考える。

○患者が必ず通る院内のサイネージや会計窓口等にて周知できないか。

○がんの告知を受けた患者には１００％相談支援センターを知ってもらう必要があるため、ホームページのＴＯＰページに相談支援センターのバナーを貼って対応している。

○がん患者が必ず相談支援センターを訪れるような誘導（来院時のコース）ができないか。

○相談支援センターの相談員の質の担保に課題がある。

○「がん相談支援センター利用割合」は、経過がわかるものとしては良いかが、割合いが高すぎるのには疑問がある。「利用」よりも「知っている」の方が良いのではないか。

③就労支援について

○相談支援センターで相談を受けてから、対応することになるが、振り分けを上手くすれば、患者も楽になる。

○就労支援について患者会との連携はないように聞こえる。

○相談支援センターについて、がん治療等の窓口と思われる人が多いのではないか。がん治療の窓口だけでないことを周知する必要がある。

④社会全体で進める環境づくりについて

○がん対策基金がどのような活動に使われているかをしっかりとアピールして、寄付を募ってはどうか。

○優良事例がある一般企業にインセンティブを与えるようにしてはどうか。（ホームページで取り上げる等して、企業や取組みの認知度を高める。表彰等）

⑤その他

○ 文中に「推進」と「充実」が混在して書かれている部分があるので整理した方が良い。

○ “ライフステージ別でみたり患率と死亡が多いがん”のグラフが示すものは興味深いが、グラフとして見づらい。

　　 　　（2）その他

　 　　　　　　特になし